

製品安全データシート

会社名 アイエスピー・ジャパン株式会社

住所 東京都中央区新川1-6-1 アステール茅場町3F

電話番号 03-5566-8705 FAX番号 03-5566-8682

作成 2005年 4月 8日

改訂 2006年 1月 23日

整理番号：

製品名	C H R O M A B O N D S - 4 0 0
-----	-------------------------------

物質の特定 単一製品・混合物の区別

：単一製品

化学名：ポリビニルピリジン-N-オキシドの水溶液

含有量：約40%

化学式： $(C_7H_7NO)_x$

官報公示整理番号：化審法・安衛法

：(6)-2529 (新規化学物質の白公示物質)

CAS No.：58984-27-3

国連分類及び国連番号：非該当

P R T R法：非該当

安衛法通知対象物質：非該当

危険有害性の分類 分類の名称：分類基準に該当しない

危険性：

有害性：

環境影響：

応急措置

眼に入った場合：直ちに流水で15分以上洗眼し、医師の手当を受ける。

皮膚に触れた場合：多量の水及び石鹼で洗い流し、症状が残るようであれば医師の手当を受ける。

吸入した場合：新鮮な空気の場所に移し、医師の手当を受ける。

飲み込んだ場合：もし患者が意識があれば吐かせ、直ちに医師の手当を受ける。
患者に意識がない場合には、口から何も与えてはならない。

火災時の措置

消火方法：

(1) 周辺火災の場合

速やかに容器を安全な場所に移す。

移動不可能な場合は容器及び周囲に散水し消火する。

(2) 着火した場合

火元への燃料源を断ち、消火剤を使用して消火する。

スプレー水で火災に曝露されている表面を冷やす。

消火作業は風上から行い、消火を行う人は場合によって呼吸保護具を着用する。

消火剤：噴霧水、泡（耐アルコール）、粉末、二酸化炭素

漏出時の措置

- (1) 少量の場合は吸収材で吸い取る。多量の場合は漏れた液は砂などで囲み、回収する。
- (2) 漏れた液は、下水等に入り込まないように注意する。

取扱い及び保管上の注意

- 取扱い：(1) 皮膚接触を防ぎ、必要に応じ適切な保護具を着用して作業する。
 (2) 取り扱い後は手洗いを十分に行い、作業衣等に付着した場合は着替える。
 (3) 強酸、強アルカリ及び還元剤との接触を避け、高熱に曝さない。
- 保管：(1) 貯蔵場所では常に整理整頓及び清掃に努め、みだりに不必要な可燃物を放置しないこと。
 (2) 収納した容器を貯蔵するときは地震等で容器が容易に転落、転倒し又は他の落下物により損傷を受けないようにする。
 (3) 乾燥した換気の良い所に保管する。

暴露防止措置

- 管理濃度： なし
 許容濃度： 日本産業衛生学会勧告値 (2004年版)
 時間荷重平均： 未設定
 ACGIH(2004)勧告値
 時間加重平均(TWA)： 未設定

設備対策：局所排気装置等の換気設備をを設ける。

保護具：保護手袋 等

その他の衛生上の予防措置

- (1) 取り扱い後は手洗い、洗眼を十分に行う。
- (2) 健康診断を定期的の実施する。
- (3) 安全衛生教育を実施する。

物理 / 化学的性質

外観	：	透明淡黄色の液体
比重	：	1.15(25)
沸点	：	105 (推定)
融点	：	-
蒸気圧	：	-
蒸気比重	：	-
溶解度	：	水に易溶
揮発分	：	-
その他	：	pH = 4 ~ 5 弱い臭気

危険性情報 (安定性、反応性)

- 引火点：93.4 以上 (TCC)
 発火点：データなし
 爆発範囲：データなし
 反応性：一般的取扱い、貯蔵の条件では安定である。
 強酸、強アルカリ及び還元剤との接触を避ける。
 自己反応性：特になし。

熱分解すると毒性のシアン化合物、NO_x、CO等が放出されることがある。

有害性情報 ¹⁾

- 刺激性：皮膚 非常に弱い刺激性
 眼 刺激性なし

感作性	:	ヒト	感作性なし
急性毒性	:	経口 ラット	LD ₅₀ 2,000 mg/kg 以上
		経皮 ラット	LD ₅₀ 2,000 mg/kg 以上
亜急性及び慢性毒性	:	経口 ラット	死亡前の観察では体重、体重増加率、摂餌量及び臨床病理学的変化は観察されなかった。但し、尿ナトリウムの蓄積と排泄量の増加が認められた。高濃度群(2,500 mg/m ³)の雄の腎臓と脾臓の組織病理学的変化が記載されている。腎臓の影響はガラス状少滴の形成を伴う管状組織の変性である。ガラス状少滴の形成が観察されたのは中及び低濃度群のみであった。脾臓への影響は全ての雄に骨髓のヘパトポイシスの増加である。対象動物に対して発生率の増加である。投与群の中で投与量との相関関係は認められない。血液学的パラメーターと骨髓の組織病理学や脾臓重量には変化が無かった。その上、骨髓のヘパトポイシスの影響は生物学的有意な差は考えにくい。2u-グロブリンの試験は 2500mg/kg/d 3日間投与時に2u-グロブリンが雄のラットの腎臓に蓄積されたことを示している。(高濃度群 2500 mg/m ³ , 28日間摂餌試験)
変異原性	:	エームズ試験と E.coli WP2	変異原性試験は両方とも陽性反応は観察されていない。
発がん性	:		データなし
催奇形性及び生殖性	:	野生の雌ラットに妊娠第1日から17日の期間	1,000mg/kgを投与した。他の群にはエアロゾル 51mg/m ³ 、1時間/日を妊娠初めから20間投与した。これ等は胎児の発達、妊娠期間、繁殖力、子供の活力には影響なかった。野生の雄ラットとマウスに 1,000mg/kg, 5 d/week, 2週間投与した。他の群にはエアロゾル 58mg/km ³ , 1 hr/d, 5 d/week, 8ヶ月投与した。両群とも投与による影響を示していない。投与経路にかかわらず、優性致死変異原性試験は変化が認められていない。
代謝・排泄	:		データなし
その他	:		

環境影響情報

生分解性	:	生分解性は無い(連続活性汚泥試験 平均 DOC 29 日間、除去率 8%)
生態影響	:	藻類(Scenedesmus subspicatus)の成長毒性試験
		72 hr EC ₅₀ 1531 mg/l 以上
		しかし、成長曲線による面積については EC ₅₀ 530 mg/l
		無影響量(NOEC) EC ₅₀ 48 mg/l
		魚類(Brachydanio reno)試験 96 hr LC ₅₀ 1,000 mg/l 以上
		ミジンコ(Daphnia magna)試験 48 hr LC ₅₀ 1,000 mg/l 以上
		これ等の結果は水生生物に対しては非常に毒性の低いことを示している。

廃棄上の注意

- (1) 空容器であっても、内容物が残留していることがあるので取扱いには注意する。
- (2) 空の小型容器は栓を固く締め、空容器であることを表示する。
- (3) 容器を修理又は廃棄する場合は、水洗又はスチーム洗浄を行い有機物を完全に除去した後に行う。

- (4) 廃棄物などは、そのまま又は易燃性溶剤とともに、少量ずつ焼却炉にて焼却処理するか、又は廃棄物処理免許を持つ処理業者に処理を委託する。
- (5) 焼却処理の場合は、有害ガス(シアン化合物、NO_x、CO_x等)が発生する恐れがあるので燃焼排ガスの処理対策を講ずる。

輸送上の注意

- (1) 車輛等によって運搬する場合、荷送人は運送人に運送注意書を交付するのが望ましい。
- (2) 容器の輸送及び運搬は、常にしっかりと固定した状態で行い、特に瓶及び缶は輸送中に互いに衝突して破損することのないようにあらかじめ適当な緩衝物を詰めていく。

主な適用法規

特になし

その他

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また、通常取り扱いを対象としたものであって、特別な取扱いをする場合は用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。記載内容は情報提供であって、保証するものではありません。

全ての化学製品には未知の有害性があり得るため、取扱いには細心の注意が必要です。

ご使用各位の責任において、安全な使用条件を設定して下さいようお願い申し上げます。

参考文献

- 1) MATERIAL SAFETY DATA SHEET REILLY INDUSTRIES, INC.